

Minato de Paella Festa 2015 イベント報告書

日本パエリア協会による パエリア講習会

目的：

- ① 日本パエリア協会の紹介
- ② 野外で大型パンでのパエリアの作り方の講習とノウハウの供給
- ③ 下関市内の飲食店でイベント後に下関パエリアが出せるようにサポート
- ④ イベント運営関係者やボランティアがパエリアの試食
- ⑤ メディアを通しての PR

日時：2015年11月4日（水）16：00～18：00

場所：唐戸屋台村

協力：日本パエリア協会

参加人数：約50名（うち飲食業関係者10店舗）

目的に対する結果：

- ① 日本パエリア協会の小林シェフ、守屋シェフと参加者が一緒にパエリアを作ったため、コミュニケーションが良く取れて日本パエリア協会との関係性も構築できた。
- ② ペペリーノが要予約で下関パエリアを提供可能。
- ③ イベント運営関係者全員が試食した。
- ④ 講習会の様子も NHK, YAB のテレビ局 2 社で取材されて、放映された。



Minato de Paella Festa!! 2015

主催：Minato de Paella Festa 2015 実行委員会

日時：2015年11月5日（木）17：00～20：00

場所：下関唐戸市場 場内セリ場

チケット：前売り3000円（ドリンク別）

定員：200名

来場者数：210名（定員オーバーの部分はフードを多めに用意して対応）

協賛企業数：52社（重複あり）

（プラチナスポンサー6社、ゴールドスポンサー23社、物品協賛23社）

実行委員人数：15名

その他協力者人数：50名

目的：

- ① 唐戸市場で食のイベントをすることで、唐戸市場だけでなく他の地域で活動する人たちがつながり、下関全体の活性化をサポートする。
- ② 下関の食材や観光を下関の外にアピールして活性化をサポートする。

目的に対する結果：

- ① 実行委員を中心に、唐戸市場、唐戸商店街、長府、豊前田などの地域で活動するメンバーが集結したため、来場者も下関の各地域や団体から集まり、年代も背景も違う人たちがみんなで楽しめるイベントとなった。
- ② 下関以外も、長門市、萩市、山口市、東京などから来場者があり、下関だけに留まらない交流の場となった。
- ③ 港をつなぐというスカイプ会議では、宮城県気仙沼市（小野寺さん、磯谷さん）、山口県萩市のサテライトオフィス、青森県大間市（たらこさん、島さん）、北海道海別町（山本さん）の4ヶ所をライブ中継でつないで、港町をネットでつないだ。
- ④ NHK, YAB, 関門経済新聞などの取材を受け、メディアからも発信された。
- ⑤ パエリアを含む全てのフードの評価が高かった。
- ⑥ 大学生から70代までの幅広い年齢層が集まるイベントとなった。

Minato de Paella 2015 来場者からのコメント:

- 唐戸市場であんなことが！！ってイベントでめっちゃ刺激を受けました。
- マネージメントと巻き込みのすごさに感動しました。新たな動きを感じました。
- 民間主導のイベントゆえのパワーと圧巻さに舌を巻きました。
行政の方も行政ならではの強みを分析し、うまく民間と連携できるようにしなければと痛感。（山口県庁・職員）
- 若い人たちが、積極的に動く姿も印象的でした。刺激を受け、萩でもがんばります。（萩からの参加者）
- 魚市場なのに、唐戸市場はきれいで魚臭くないので、びっくりしました。大阪の魚市場とは大違いでした。（大阪辻料理学校・専務取締役）

